

贵州省地方志编纂委员会办公室辑

贵州历代方志集成

〔咸丰〕兴义府志

中国文史出版社



贵州省地方志编纂委员会办公室 辑

贵州历代方志集成

「咸丰」兴义府志



中国文史出版社

总目 录

贵州省

第一册

【弘治】贵州图经新志	 (一)
【嘉靖】贵州通志	 (一九三)
【宣统】贵州地理志	 (五一二)

第二册

【万历】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第三册

【乾隆】黔南识略	 (一)
【乾隆】贵州通志	 (二〇五)

第四册

【乾隆】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第五册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第六册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第七册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第八册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第九册

【民国】贵州通志	 (一)
----------	-----------

第十册

【民国】贵州通志	 (一)
【民国】今日之贵州	 (三九九)

第十一册

【万历】黔记	 (一)
--------	-----------

第十二册

【万历】黔记	 (一)
【康熙】黔书	 (四三五)
【嘉庆】续黔书	 (五一九)
【嘉庆】黔记	 (五八九)
【嘉庆】黔史	 (六三三)

【同治】苗疆闻见录 (六五七)

贵阳府（今属贵阳市）

第十三册
【道光】贵阳府志 (一)

第十四册
【道光】贵阳府志 (一)

第十五册
【道光】贵阳府志 (一)

【民国】开阳县志稿 (二四七)

【民国】修文县志稿 (四九五)

第十六册
【民国】息烽县志 (一)

【民国】清镇县志稿 (四七五)

遵义府（今属遵义市）

第十七册
【道光】遵义府志 (一)

第十八册
【道光】遵义府志 (一)

第十九册
【民国】续遵义府志 (一)

第二十册
【民国】续遵义府志 (一)

第二十一册
【民国】续遵义府志 (一)

【民国】遵义新志 (二九一)

第二十二册
【嘉庆】正安州志 (一)

【咸丰】正安新志 (一二一)

【光绪】续修正安州志 (二五三)

第二十三册
【嘉庆】仁怀县草志 (一)

【道光】仁怀直隶厅志 (四五)

【光绪】增修仁怀厅志 (四四三)

第二十四册
【光绪】增修仁怀厅志 (一)

【光绪】桐梓县志 (一三三)

第二十五册

【民国】桐梓县志 (一)

第二十六册

【民国】桐梓县概况 (一)

【乾隆】绥阳县志 (五九)

【民国】绥阳县志 (九七)

【光绪】余庆县志 (三二五)

【民国】余庆县志 (三七九)

【康熙】湄潭县志 (四八一)

第二十七册

【光绪】湄潭县志 (一)

【民国】务川县备志 (二二七)

【光绪】都濡备乘 (二六九)

【康熙】龙泉县志草 (三一)

水城厅 (今属六盘水市)

【光绪】水城厅采访册 (三二九)

【民国】郎岱县访稿 (四七一)

【民国】水城县志草稿 (五五三)

安顺府 (今属安顺市)

【咸丰】安顺府志 (一)

第二十八册

第二十九册

【咸丰】安顺府志 (一)

【民国】续修安顺府志 (二七五)

第三十册

【民国】续修安顺府志 (一)

【道光】永宁州志 (二七七)

【咸丰】永宁州志补遗 (四六九)

第三十一册

【光绪】镇宁州志 (一)

【民国】镇宁县志 (八七)

【道光】安平县志 (四四一)

第三十二册

【道光】安平县志 (一)

【民国】平坝县志 (一六一)

【民国】关岭县志访册 (四五七)

【民国】紫云县社会调查 (五一七)

【民国】羊场分县访册 (五七三)

大定府 (今属毕节市)

第三十三册

【道光】大定府志 (一)

第三十四册

【道光】大定府志		(一)
【民国】大定县志		(二一九)

第三十五册

【民国】大定县志		(一)
【乾隆】黔西州志		(二四五)
【嘉庆】黔西州志		(三三三)
【光绪】黔西州续志		(五〇七)

第三十六册

【民国】黔西州志		(一)
【乾隆】平远州志		(九五)
【道光】平远州志		(一九一)
【民国】威宁县志		(三三一)

第三十七册

【乾隆】毕节县志		(一)
【同治】毕节县志稿		(一七一)
【光绪】毕节县志		(四六九)

铜仁府（今属铜仁市）

第三十八册

【嘉靖】思南府志		(一)
【道光】思南府续志		(八七)

第三十九册

【道光】铜仁府志		(一)
【民国】思南县志稿		(二六五)
【乾隆】石阡府志		(三七九)

第四十册

【乾隆】玉屏县志		(一)
【民国】玉屏县概况		(二三七)
【民国】石阡县志		(二六五)

第四十一册

【民国】玉屏县志资料		(一)
【康熙】平溪卫志书		(二九)
【道光】松桃厅志		(六一)
【民国】沿河县志		(三二七)
【民国】印江县志		(四五七)
【民国】德江县志		(四七九)
【民国】江口县志略		(五三九)

兴仁府（今属黔西南州）

第四十二册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

第四十三册

【咸丰】兴义府志		(一)
----------	-------	-----

【光绪】兴义府志续编	·····	(三七九)
【民国】兴义县志	·····	(四〇五)

第四十四册

【民国】兴义县志	·····	(一)
【民国】兴仁县志	·····	(三五三)

第四十五册

【民国】兴仁县志	·····	(一)
【民国】兴仁县补志	·····	(一三九)
【民国】兴仁县采访录	·····	(三五七)
【嘉靖】普安州志	·····	(三九七)

第四十六册

【乾隆】普安州志	·····	(一)
【光绪】普安直隶厅志	·····	(一五七)
【民国】晴隆县志	·····	(四五九)
【民国】册亨县乡土志略	·····	(五一七)
【乾隆】南笼府志	·····	(五五五)

第四十七册

【民国】南笼续志	·····	(一)
【民国】普安县志	·····	(一二五)
【雍正】安南县志	·····	(四一五)
【光绪】安南县乡土志	·····	(五四一)

【民国】安南县志	·····	(五六五)
----------	-------	-------

镇远、黎平府（今属黔东南州）

第四十八册

【民国】思县志稿	·····	(一)
【光绪】黎平府志	·····	(七九)

第四十九册

【光绪】黎平府志	·····	(一)
【康熙】清浪卫志略	·····	(四八九)

第五十册

【嘉庆】黄平州志	·····	(一)
【民国】黄平县志	·····	(四三七)

第五十一册

【民国】黄平县志	·····	(一)
----------	-------	-----

第五十二册

【乾隆】镇远府志	·····	(一)
【嘉庆】古州杂记	·····	(二六三)
【光绪】古州厅志	·····	(二七三)

第五十三册

【康熙】思州府志	·····	(一)
----------	-------	-----

【康熙】天柱县志	(一四九)
【光绪】续修天柱县志	(二三七)
【民国】天柱县五区团防志	(四二九)
【民国】施秉县志	(四五三)
【民国】榕江县乡土教材	(五二九)

第五十四册

【民国】剑河县志	(一)
【民国】麻江县志	(七一)
【民国】岑巩县志	(三二三)

第五十五册

【民国】台拱县文献纪要	(一)
【乾隆】清江志	(四一)
【乾隆】开泰县志	(二〇三)
【民国】八寨县志稿	(三二一)
【民国】炉山物产志稿	(四八三)

都匀府（今属黔南州）

第五十六册

【民国】都匀府亲辖道里册	(一)
【民国】都匀县志稿	(三七)
【康熙】定番州志	(二八七)
【民国】三合县志略	(三七七)

第五十七册

【乾隆】独山州志	(一)
【民国】独山县志	(二八五)
【民国】独山县志文征志	(六一三)

第五十八册

【民国】定番县乡土教材调查报告	(一)
【咸丰】荔波县志稿	(一九一)
【光绪】荔波县志	(二一九)
【民国】荔波县志资料稿	(三六一)

第五十九册

【光绪】平越直隶州志	(一)
【民国】贵定县志稿	(六〇一)

第六十册

【民国】瓮安县志	(一)
【嘉庆】桑梓述闻	(三四九)
【民国】惠水县乡土教材调查报告	(四九一)
【道光】广顺州志	(五一七)

咸丰 兴义府志

清·张鎡修 邹汉勋 朱逢甲纂

咸丰四年刻本 七十四卷首一卷

民国三年贵阳文通书局据刻本铅排本

清咸丰年间兴义府（今属兴义市）知府张鎡纂修并作序，邹汉勋、朱逢甲等纂。

咸丰《兴义府志》共七十四卷，设卷首一卷。卷一为天文志。卷二至卷十一为地理志。卷十二至卷十四为河渠志。卷十五为秩官志。卷十六至卷二十二为学校志。卷二十三为武备志，仅设兵制（附塘汛）二目。卷二十四至卷二十七为赋役志。卷二十八至卷三十为经制志。卷三十一至卷三十三为祠祀志。卷三十四至卷三十五为营建志。卷三十六至卷三十八为古迹志。卷三十九为艺文志，仅设著述一目。卷四十至卷四十二为风土志。卷四十三为物产志。卷四十四至卷四十六为大事志。卷四十七至卷四十八为职官表。卷四十九为选举表，卷五十为恩荫表，卷五十一为忠义表，卷五十二为孝友表，卷五十三为善行表，卷五十四为寿考表，卷五十五为烈女表，卷五十六为节妇表，卷五十七为贤妇表，卷五十八为名宦传，卷五十九为政绩传，卷六十为武功传，卷六十一为乡贤传，卷六十二为忠义传，卷六十三为孝友传，卷六十四为文学传，卷六十五为良将传，卷六十六为隐逸传，卷六十七为善行传，卷六十八为艺术传，卷六十九为方外传，卷七十为流寓传，卷七十一为孝女传，卷七十二为贞女传，卷七十三为烈妇传，卷七十四为节妇传，咸丰四年（1855）《兴义府志》刻本印行。民国三年（1914）贵阳文通书局据咸丰刻本印制铅排本。

目 录

旧志序 (五)

序 (六)

卷首 编辑衔名 (一〇)

凡例 (一三)

总目 (一六)

御制 (二〇)

引用书目 (二七)

舆图总说 (三四)

卷一 天文志 分野 (六七)

卷二 地理志 沿革 (七一)

卷三 地理志 疆域 (一一五)

卷四 地理志 形势 (一二八)

卷五 地理志 气候 (一三一)

卷六 地理志 城郭 (一三三)

卷七 地理志 道里 (一三七)

卷八 地理志 关隘 (一四三)

卷九 地理志 屯寨 (一四六)

卷十 地理志 场市 (一五九)

卷十一 地理志 名山 洞石附 (二六四)

卷十二 河渠志 水道 诸泉附 (一八三)

卷十三 河渠志 桥梁 隄塘附 (二〇三)

卷十四 河渠志 津渡 隄附 (二一三)

卷十五 职官志 官制 (二一七)

卷十六 学校志 学官 (二三六)

卷十七 学校志 学制 (二四一)

卷十八 学校志 学田 (二四五)

卷十九 学校志 书院 (二四九)

卷二十 学校志 试院 (二五三)

卷二十一 学校志 试费 (二六〇)

卷二十二 学校志 义学 社学附 (二六四)

卷二十三 武备志 兵制 (二六七)

卷二十四 赋役志 田赋 (二八一)

卷二十五 赋役志 户口 (二八六)

卷二十六 赋役志 丁银 (二八九)

卷二十七 赋役志 税课 (二九二)

卷二十八 经制志 经费 (二九四)

卷二十九 经制志 积储 (三〇三)

卷三十 经制志 驿站 铺附 (三一三)

卷三十一 祠祀志 坛庙 (三二三)

卷三十二 祠祀志 祠宇 (三三四)

卷三十三 祠祀志 寺观 (三三九)

卷三十四 营建志 公署 (三四七)

卷三十五 营建志 公所 (三五四)

卷三十六	仓廩		(三五七)
	坊表		(三五八)
	字塔		(三五九)
	古迹志		(三六〇)
	古地		(三六一)
	古城		(三六五)
	古驿		(三六六)
卷三十七	古迹志	古墓	(三六七)
卷三十八	古迹志		(三六九)
	古碑		(三七〇)
	古物		(三七三)
卷三十九	艺文志	著述	(三七五)
卷四十	风土志	风俗	(三八〇)
卷四十一	风土志	苗类	(三八五)
卷四十二	风土志		(三九三)
	方言		(三九四)
	苗语		(三九四)
卷四十三	物产志	土产	(四〇九)
卷四十四	大事志	纪年	(四五三)
卷四十五	大事志	本末	(四九三)

舊志序

南甌無志也。地落荒陬。苗多蠡螭。歷以屬外之。統歸梁州南境。無可志。亦不必志也。洎乎前明。分戍置屯。設衛所於陵元之堡。始曰安甌。嗣是以還。人雜溪聲。地近衣冠。歷二百餘年。宜若有可志者。乃割隸無定。風物可知。山川雖猶是也。而有苗未格。難成大禹之謨。稽顙志於子章。亦屬筆終未及矣。洪惟我

其

聲教所先訖者。改廳建府以來。定田賦。設膠庠。舉休雖獷悍之習。靡而清之。百年之氣象維新。

一人之經綸不著也。昌基曆

興義府志序

簡命。來守是邦。雖稽往事。未有成書。履新阡而經界綺錯。臨頻壁而雅藻芳流。其間象野之拱於辰。山澤之奠於位。城郭之固吾圉。區域之畫乃封。歷歷可徵。恍若圖呈在口。矧乎式孝友之問。其人可作。綽節義之楔。厥事如生。無曰邊隅。有足多者。是可知南甌之無志。以無可志也。今之風土人物。較諸往昔。若開草昧而啓鴻濛。風氣協天。時物隨化。按百餘年休養薰陶之情事。而臚列之。將以占天時。考封域。稽治畝。明官常。別貞淫。刺奢儉。察祿祥。昭信守。悉具於是。無事附會遠搜。徒落摺持者。猗歟休哉。從古羈縻之屬。歷無可志者。而今志之且必志之者何也。蓋志者志其實也。實之不存。志將焉屬。故昔之風土人物。無可志。而今志之。且必志之。實以志盛朝至治之實云爾。由斯以談。昌是以不揣無文。竊取周官外史氏

之意。據事直書。以附文獻之末。而南甌於是乎有志。

乾隆二十九年十月

賜進士出身朝議大夫知貴州南甌府事成都李其昌撰

興義府志序

興義府志序

我

朝土宇版章增其式廓萃天下郡國志以成一統志典至鉅也若是乎郡國不可以無志志不可以不詳備屬在邊徼爲尤急誠以地居荒遠風土人情必文獻足徵而始

興義府志序

著然需之孔急而成之愈難淺見寡聞汲古功疎則攷覈難撐腸拄腹泥古不化則著作難取才富有論古無識擇焉不精語焉不詳則論斷尤難加以簿書鞅掌案牘勞形屈首朱墨日不暇給則又難乎其難以故通都大邑經

國家承平二百餘年教澤風行文華日盛而志乘缺如者猶且不乏矧在邊徼去京師萬里者乎歲壬子奉

命視學黔南所至必取志乘覽之以藉知其習俗而識其土風去春至興義興義古牂柯地遠畿輔幾

興義府志序

萬里甫下車郡守

春潭年丈將

往威甯權道篆一晤而別今冬科

試重來

公仍守此以所撰府志

見示讀之較舊志詳數倍舊志書

僅八卷無表無列傳

公自道光

二十一載來守是邦喜其地僻而

事簡愛其習俗之醇

茂公餘取舊

志刪其繁存其要補其略增其遺
分門別類釐爲七十四卷聚十三
載之精神搜萬餘卷之積軸傳疑
傳信網羅數十載之舊聞其慎其
難更易十數番之手稿而後質諸
鄒淑績孝廉朱蓮生茂才均謂毫
髮無憾始出付剞劂嗚呼備矣

興義府志 序

三

公蓋裕作史之學擅作史之才具
作史之識故攷覈詳明著作淹雅
論斷精當讀公之志庶邊徼之
風土人情均可悉其概矣以篇家
之鴻筆登著作之庭所謂大雅宏
達於是乎在惡可以不書
咸豐四年歲次甲寅孟冬望後穀

旦提督貴州學政翰林院編修年
愚姪黃統謹序



興義府志 序

四

府志序

之有志所以表賢敦俗。佐治興文。考沿革。正疆域。辨險要。察風土。論政教。勵官常。詳典章。以備掌故者也。興郡南界粵。西界滇。盤江環郡。萬山凌雲。漢苗雜處。爲黔省西南要郡。尤不可以不詳志。粵稽郡地。上古爲盤瓠國。唐虞爲荒服。殷曰鬼方。周曰夜郎。曰牂柯。曰靡莫。其時屬在遐荒。未漸聲教。文物闕如。迨漢始置郡縣。前漢曰牂柯郡。曰夜郎縣。後漢曰興古郡。晉曰夜郎郡。名宦鄉賢。於時輩出。可志良多。降及六朝。厥地沒入蠻蠻。至唐。繼廢。遙置盤州。宋爲羅善國。爲于矢部。未置郡縣。元爲普安路。凡此數朝。稽之載籍。間有可徵。迨至明初。於今郡之全境。設二衛六所。二衛者。普安衛。安南衛。六所者。安南所。安隆所。新興所。新城所。中左所。中右所。是也。明之中葉。又析普安衛。置普安州。一朝之人物典章。粲然可考。洎我皇朝。順治初年。故明之永明王。竊據郡境。僭改安隆所。爲安龍府。至順治十五年。地入版圖。乃改安龍府。爲安龍所。後析普安衛。置普安縣。康熙時。又裁安南安龍二所。設南龍廳。改安南衛。爲安南縣。雍正中。始升南龍廳。爲南龍府。又割泗城地。設永豐州。與普安州。普安縣。安南縣。並隸府。郡守與州縣。分境而治。乾隆中。仍其制。至嘉慶二年。平苗。乃賜改南龍府。曰興義府。改永豐州。曰貞豐州。又析府地。及普安州地。設興義縣。而普安州。旋改爲普安廳。遂不隸府。于是郡領州一。縣三。曰貞豐州。興義縣。普安縣。安南縣。郡守仍與州縣分境而治。而所領州縣。與雍正乾隆時異矣。洪惟我

興義府志

序

興義府志序

國家

聖聖相承

皇仁遠被

文教遐宣。久道化成。以迄于今。郡境沐浴

聖化。二百餘年矣。禮樂彬彬。人文蔚起。風俗醇美。允臻極盛。猗歟休

哉。人物典章。誠志不勝志焉。守斯郡。前後踰十載。憶道光二十

一年。初來守郡。見郡境山川奇秀。風氣敦龐。士樂詩書。民安耕鑿。輒

然喜。既乃考典章。覽郡志。志爲乾隆中。李漣溪郡守撰。書名南龍府

志。凡八卷。紀載頗簡明。惟書中僅有八志。而無表與列傳。又書成于

乾隆二十九年。距今幾及百年。郡與州縣。既經析置改隸。凡疆域制

度田賦之類。已多與今不合。矧近百年中。郡之名宦鄉賢。忠臣孝子。

興義府志

序

興義府志序

文人良將。以及列女。宜續志者多。且舊志。僅志府親轄境事。未志所屬各州縣境事。則舊志不可不增修也。修郡志。郡守責也。該不敢多諛。自任增修。乃出藏書萬卷。博考纂輯。復詢紳士。訪父老。屬草焉。如是者十年。案凡數易。道光三十年。聘楚南鄒淑績孝廉來郡。出稟相質。商確經年。又易案者再。咸豐元年。又聘江南朱蓮生茂才勸修。商確兩年。與其定義例。闕者補。僞者正。冗者節。泛者刪。又數易案。至咸豐三年。乃成書七十四卷。凡志四十二卷。表十二卷。列傳十七卷。都計自屬草以迄成書。凡十有三年。而書乃成。甚矣其難也。錢之心力。瘁于此書矣。然一人之耳目有限。天下之載籍無窮。黔中古籍。如明趙汝謙之平黔記。李桂之全黔紀略。趙璣之貴州新志諸書。錢均未之見。恐于郡事。僅知什一于千百耳。而欲懷心大備。豈有已時。姑先

業行。以待將來再修增補。惟竊思古今撰志者。約有十六病。或考今遺古。枘腹成書。逞臆而言。無微不信。病一。或繁徵博引。與地無關。穿鑿支離。茫無端緒。病二。或直寫采訪之冊。大類胥鈔。冗贅引證之書。不知裁剪。病三。或時擬俚語。言之無文。或轉借艱深。以文淺陋。病四。或數卷之中。自相矛盾。各卷之內。論斷不加。病五。或但據舊文。弗參互考。但知其一。不知其他。病六。或傳方外。則高談仙佛。志邱墓。則修語鬼神。志祠祀。則文廟與寺觀並列。崇尙異端。繁戾書旨。儒者譏之。病七。或廣載藝文。幾同文選。頌已德政。亦入志書。于義何居。大乖志例。病八。甚有臚列已文。似已文集。桂林相國。曾議其非。病九。雖曰志乘體裁。似宜有褒無貶。然使過于夸飾。何以傳後信。病十。至于考核不精。予奪不當。體例不善。敘述不詳。去取不嚴。關係不載。此六者。

興義府志 序

尤撰志之大病也。凡此十六病。錄今定案。豈盡無之。然錄于此。微引必著書名。稽溯必詳源委。采摭必求闕郡。條目必求分明。訪冊不盡信憑。引書稍加裁節。俾言必去。晦語必芟。矛盾必無。論斷必有一事必互考。各說必並存。不崇尙異端。不濫存嘖語。昔人之文多錄。近人之作略存。至間載已文。僅數篇見意。而頌揚德政。則一字不登。列傳核實必嚴。諸志夸詞必削。考核必求一是。予奪必歷衆心。體例悉本前人。敘述折衷聚訟。去取俱有深意。關係盡爲大書。此寸心所自信。而于舊志。稍有微功。于興郡。非無小補者也。或曰。舊志祇八卷。似過于簡。今書七十四卷。毋乃過于繁乎。不知志體。繁簡何常。即今于舊志事蹟。盡采人書。而字節句刪。文省于舊。是今更簡于舊志也。至上下三千年。別增事蹟。近今一百載。臚載典章。此固宜詳而賅。不宜

簡而略已。況表傳既增。州縣兼志。則卷多于舊。勢有必然。且古今志書。固有以簡勝者。亦有以繁勝者。如宋常棠之潞水志。僅十四頁。元馮應京之昌國州志。僅七卷。明康海之武功縣志。僅二卷。韓邦靖之朝邑縣志。僅二十餘頁。此皆簡而能賅。以簡勝者也。若宋潛說友之臨安志。九十三卷。明劉昌之蘇州續志。一百卷。陳繼儒之松江府志。九十四卷。程敏政之新安志。一百卷。陳善之杭州府志。一百卷。此皆繁而不蕪。以繁勝者也。然以簡勝者。皆州縣志也。以繁勝者。皆郡志也。蓋州縣志。祇載偏隅。事蹟少。宜以簡嚴勝。郡志兼載各屬。事蹟多。宜以詳賅勝。舊志名爲郡志。實僅載親轄一隅。則猶之州縣志也。宜可以簡也。今則備載各屬。與其簡而略。不如詳而賅矣。抑錄更有說焉。昔宋朱長文撰吳郡圖經續記。徵引博而序述簡。范成大撰吳郡

興義府志 序

志。典贍而不蕪雜。羅願撰新安志。自稱爲儒者之書。具有微旨。張洪撰會稽續志。多補正前志之訛闕。此四書。錄心向往之。願學焉。而錄又有竊惡焉者。唐杜祐通典。論撰地志之失曰。綴介必書。樹石無漏。豈撮機要者。華陽國志之類。皆多訛繆。何暇取之。而錄今于善行表。纖善必書。于地理志。樹石間載。華陽國志之類。亦多援引。此錄之失。而自惡者也。又唐李吉甫元和郡縣志。論地志之失曰。言地理者。尙古遠。或搜古略今。采謠俗。多傳疑失實。至于邱壘山川。攻守利害。皆略不書。今錄于此書。略今失實。庶幾可免。而攻守利害。僅于形勢兵制。附論大略。未能出卓識。樹崇議。著爲名言。此又錄之失。而深惡者也。特以纂經數易。頗費苦心。藏棄不棄。久恐散佚。故特率屬捐俸授梓。續有所得。當再增修。願博雅通人。先賜正之。幸甚。